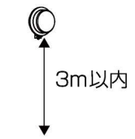
取り付け場所について

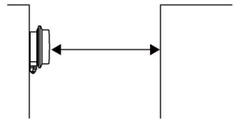
●必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
●1つの壁スイッチには1台でご使用ください。(1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)
●調光器のついている回路ではご使用になれません。
●器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討のうえ決定してください。

人感センサースイッチの検知エリアを考慮して器具を設置してください。

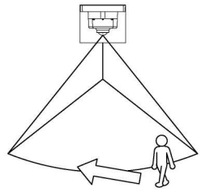
●高さ3m以内に設置してください。



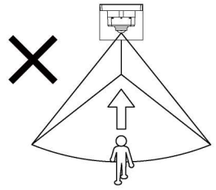
●器具本体から出た光の反射によっておこる自己点滅を防ぐため、白壁から1.5m以上離して取り付けるか、もしくは人感センサー検知部の方向を調整してください。



●センサーの特性上、図のように検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



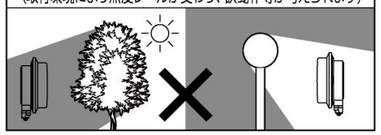
●センサーに向かって人が近づくような位置に器具を設置すると、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



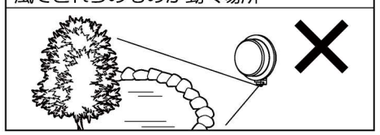
■雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

次のような場所には取り付けない　(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

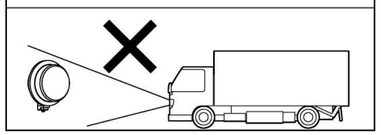
昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所
(取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます)



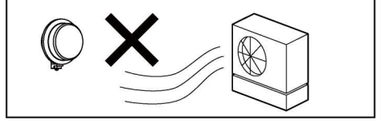
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所



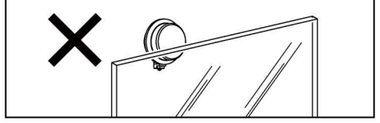
車のヘッドライトが直接あたる場所



エアコンなどの排気口の近く
排気口に対向する場所



前面に障害物がある場所
(透明なガラスでも遮断されます。)



風などでよくゆれる植物などがある場所

大理石など反射の強い
床面の場所

振動の激しいポールなど
不安定な場所

取付高さが 3m以上の場所

検知エリア内に交通量の多い
道路がある場所

保証とアフターサービス　必ずお読みください。

■保証期間
保証期間は、お買い上げ日より3年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。保証期間中に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理
お求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて
ご不明な点はお買い求めの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料修理致します。お買い上げの販売店にご依頼ください。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. 保証内容は無料修理(製品に限る)のみとさせて頂きます。その他の保証は致しかねます。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   ②お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
   ③火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
   ④納品後の移動、輸送又は什器備品等との接触による故障及び損傷
   ⑤お買い上げ日を特定できるものの提示がない場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効となります。
6. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋２丁目１２番１号
ホームページ http://www.irisohyama.co.jp/
お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
アイリスコール 受付時間 9:00～17:00
0120-311-564

MADE IN JAPAN

PEGF-GX53SE-A

ECOHiLUX エコハイルクス

施工説明書　保存用

LEDフラットタイプ　センサー付ブラケット器具　GX53口金用
PEGF-GX53SE

この取扱説明書には取り付け方やお手入れの仕方など、ご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

⚠安全上のご注意　安全にご使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

ご使用になる前に、この**「安全上のご注意」**をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示したご注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、**「警告」「注意」**の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	**誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

図記号の意味
⃠ してはいけない「禁止」内容です。
❗ しなければならない「強制」内容です。

施工者様へ

⚠警告

点灯異常の際は電源を切る　(必ず実施)
異常を感じたときは速やかに電源を切ってください。放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。

平滑な取付面に取り付ける　(必ず実施)
器具取付面はベースパッキンの大きさ以上の平らな面に仕上げてください。水気の浸入による絶縁不良・ 感電の原因になります。

アース工事を行う　(必ず実施)
アース工事は電気設備技術基準に従い確実に行ってください。アース工事が不完全な場合は、感電の原因となります。(D種接地工事)

取り付け及び保守作業の際は、必ず電源を切る　(必ず実施)
通電した状態で取り付け工事などを行うと、感電や器具破損の原因になります。

施工は、施工説明にしたがい確実に行う　(必ず実施)
施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程にしたがって行ってください。施工に不備がありますと、落下・感電・火災の原因になります。

可燃物を近づけない　(禁止)
器具を布や紙の可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものに近づけないでください。また、ドアの開閉範囲内や家具などの可燃物の近くに取り付けないでください。近すぎると被射物の変形、変色、火災の原因になります。

分解・改造しない　(禁止)
器具の分解、改造及び、部品を追加変更したり塗装しないでください。落下・感電・変形・ 火災などの原因になります。

指定以外の取付面で使用しない　(禁止)
器具は壁面取り付け兼用です。指定以外の取付面で取り付けできません。器具の落下及び発熱により寿命が短くなる原因になります。

調光器具(ライトコントロール)を使用しない　(禁止)
調光器との併用はできません。破損・不点灯・発火の原因になります。

器具重量に耐える所に取り付ける　(必ず実施)
ロックウールなどのやわらかい造営面に取り付けないでください。造営材破損や器具の落下による火災や感電の原因になります。

⚠注意

定格電圧(100V)±6%内の電源電圧で使用する　(必ず実施)
器具に表示された電源電圧 (定格電圧±6%以内) 以外の電圧で使用しないでください。間違って使用すると、LEDチップの短寿命、火災の原因になります。定格電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。

適正温度で使用する　(必ず実施)
この器具は5～35℃で使用するように設計しております。高温で使用すると火災の原因になります。

振動・衝撃をあたえない　(禁止)
振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。落下や器具破損の原因になります。

塩害地域・腐食性ガスの発生する場所に取り付けない　(禁止)
海上や臨海部などの重塩害地、沿岸部の塩害地には使用しないでください。早期の錆発生、器具落下の原因となります。また、酸などの腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。器具の腐食や落下の原因になります。

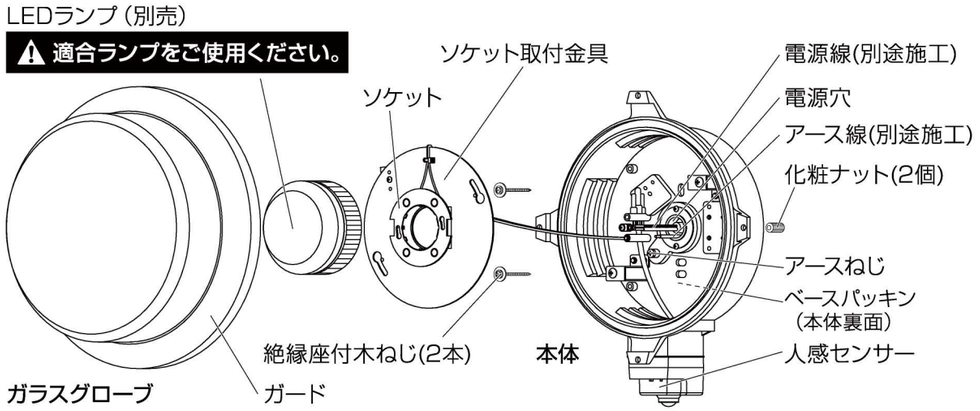
粉塵・ガスの発生する場所に取り付けない　(禁止)
粉塵の多いところ、または引火性ガスのあるところでは使用しないでください。発火・発煙・発熱の原因になります。

お願い
●ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
●間引き点灯の場合は、分岐回路を設け、そのスイッチで消灯してください。

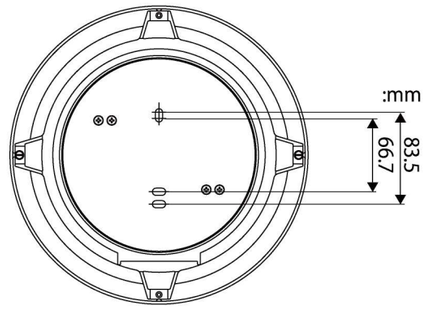
各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買上げ店またはアイリスコールまでご連絡ください。）

屋外用
防雨・防湿形
壁面取付専用



■取付穴

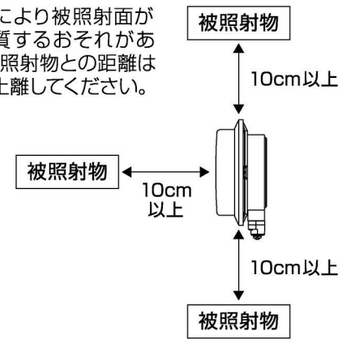


■付属品

・絶縁座付木ねじ(2本)

照射距離について

●照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。被照射物との距離は10cm以上離してください。



■仕様

屋外用　AC100V　50/60Hz共用

品　番	PEGF-GX53SE
サ イ ズ	約φ270×310×130mm
質　量	約2.3kg（※ランプを除く）

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■ランプ交換について

●器具表示にしたがって、指定されたアイリスオーヤマ製ランプを使用してください。

適合ランプ
アイリスオーヤマ　GX53口金　LEDランプ　フラットタイプ LDF6　　消費電力：6.0Wまで

⚠警告　器具表示の指定ワット数を超えるランプは使用しないでください。短寿命や器具破損の原因になります。

⚠注意　ランプ交換の際は、器具やランプが充分に冷えている事を確認してください。やけどやランプ破損の原因になります。

取り付け方

⚠警告　必ず電源を遮断してから作業してください。感電の原因になります。

1 施工前の確認

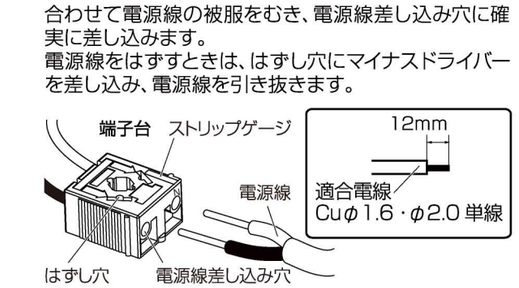
器具質量に耐えられるよう、取付部の強度を確保してください。

2 安全確保のため、電源を遮断する

⚠警告　電源を遮断しないで作業した場合、感電の原因になります。

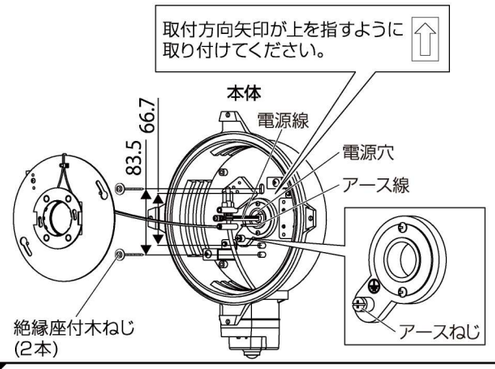
3 ガラスグローブとソケット取付金具を取りはずす

化粧ナット(2個)を左に回して、ガードを取りはずした後、ガラスグローブを左に回して、本体から取りはずしてください。
取付ねじ(2箇所)を緩め、ソケット取付金具を左に回してソケット取付金具を本体から取りはずしてください。



4 本体とアース線を取り付ける

本体中央の電源穴より電源線とアース線を引き出してください。
本体内面の取付方向、下図の取付ピッチを参照し、付属の絶縁座付木ねじ(2本)で本体を取付面にしっかりと取り付けてください。
アース線を本体内面のアースねじに取り付けてください。

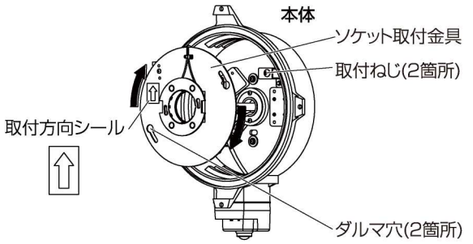


5 電源線を接続する

ソケット取付金具裏面の端子台のストリップゲージに合わせて電源線の被服をむき、電源線差し込み穴に確実に差し込みます。
電源線をはずすときは、はずし穴にマイナスドライバーを差し込み、電源線を引き抜きます。

6 ソケット取付金具を取り付ける

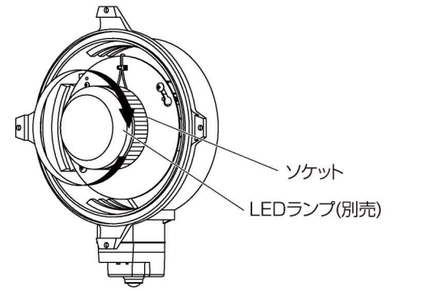
ソケット取付金具の取付方向に従って、ソケット取付金具のダルマ穴(2箇所)と取付ねじ(2箇所)の位置をあわせ、右に回してください。その後、取付ねじ(2箇所)を締め付けてください。



7 指定のLEDランプを確実に取り付ける

ソケットに指定のLEDランプを取り付けてください。

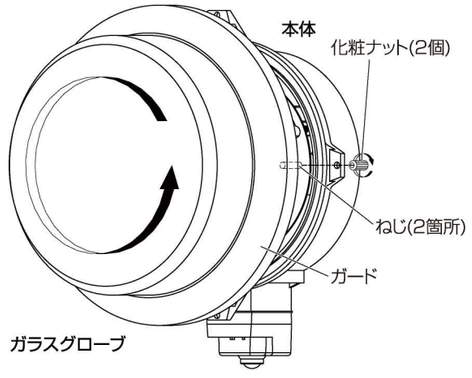
⚠警告　指定ランプをソケットに確実に取り付けてください。
取り付け方がゆるいと、不点灯や落下の原因になります。



8 ガラスグローブを取り付ける

ガラスグローブを右に回して、本体に取り付けてください。
ガードから出ているねじを本体の穴(2箇所)に通して、化粧ナット(2個)を右に回して、ガードを本体に取り付けてください。

⚠警告　ガラスグローブの取り付けは確実に行ってください。
取り付けが不十分ですと、湿気・水気の浸入による絶縁不良・感電の原因になります。



故障かな？と思ったら

●センサーの動作がおかしい時は下図を参考に点検を行ってください。
●処置をした後でも異常があるときは、必ず電源を「オフ」にし、お買い上げの販売店、電気工事店、または取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現　象	考えられる原因	処置方法
周囲が暗くなっても点灯しない	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	センサーに周りの光が入っている。	光が入らないようにしてください。※3
人が近づいても点灯しない	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	厚手の服を着ている。傘をさしている。	熱量を検知するため、コート等を着込んでいたり、傘をさしていると、体温が検知されず、反応しない場合があります。※1
	「点灯時間」スイッチが「人感切」になっている。	スイッチの設定を変えてください。
	人感センサーの検知部の表面に汚れが付着している。	柔らかな布で軽く人感センサー検知部の汚れを落としてください。
	照度検知に対し、周りが明るすぎる。	設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。
点灯したままで消灯しない	誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。(緑色の表示灯が点灯している。)	壁スイッチを2秒以上OFFにしてから再びONにしてください。設置されているセンサーのモードに戻ります。
	連続点灯モードになっている。(緑の表示灯が点灯している。)	センサーモードに戻してください。
	「点灯時間」スイッチが「人感切」になっている。	スイッチの設定を変えてください。
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	検知エリア内に、常に人感センサーに反応するものがある。	検知エリアから反応するものを取り除いてください。
	激しい雨が降っている。	人感センサーの検知部についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動いている。	検知エリアの確認、調整を行ってください。
人が近づかなくても点灯する	照度センサーモードで周囲が暗くなった。	照度センサーモードは周囲が設定より暗くなると点灯します。
	激しい雨が降っている。	人感センサーの検知部についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動いている。	検知エリアの確認、調整を行ってください。
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
検知エリアに人がいるのにランプが消える	ランプが切れている。	壁スイッチ(電源)をOFFにしてからランプを交換してください。
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源ON直後はセンサー内のマイコン調整を行ってしまいますので、一度ランプが点灯し、消灯して待機状態となります。※2
	「点灯時間」スイッチが「人感切」になっている。	スイッチの設定を変えてください。
明るさに関係なく人に反応し点灯する	「まわりの明るさ」スイッチが「切」になっている。	「まわりの明るさ」スイッチを「暗」または「明」に設定してください。
	まわりの明るさが急に明るくなった。黒い布などでセンサーを覆っていたものを取り除いた。	照度センサーがまわりの明るさを検知し、待機状態を解除するまでに数分かかる場合があります。

※1　人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化(温度変化)を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴が人感センサー検知部に付着した場合や、水滴が人感センサー前面を動いても反応することがあります。冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の温度が外気と差がない為に、人感センサーが反応しないことがあります。

※2　電源投入直後は約1分間ランプ点灯状態となり、センサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーは約5秒間消灯してからセンサー待機状態となります。

※3　反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯します。器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置が必要です。

ECOHiLUX エコハイルクス

取扱説明書

保存用

LED電球タイプ　センサー付ブラケット器具　GX53口金用
PEGF-GX53SE

この取扱説明書には取り付け方やお手入れの仕方など、ご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

⚠安全上のご注意

安全にご使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

ご使用になる前に、この**「安全上のご注意」**をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示したご注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、**「警告」「注意」**の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	**誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

図記号の意味
⃠ してはいけない「禁止」内容です。
❗ しなければならない「強制」内容です。

お客様へ

⚠警告

ランプ交換・お手入れの際は電源を切る（必ず実施）
ランプ交換やお手入れの際は電源を切ってください。
感電、やけどの原因になります。

点灯異常の際は電源を切る（必ず実施）
異常を感じたときは速やかに電源を切ってください。放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電気店にご相談ください。

適合ランプを使用する（必ず実施）
ランプ交換の際は、必ず取扱説明書通りの種類・ワット数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形・変色したり、火災の原因になります。

可燃物を近づけない（禁止）
器具を布や紙の可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものに近づけないでください。また、ドアの開閉範囲内や家具などの可燃物の近くに取り付けないでください。近すぎると被射物の変形、変色、火災の原因になります。

分解・改造しない（禁止）
器具の分解、改造及び、部品を追加変更したり塗装しないでください。落下・感電・変形・ 火災などの原因になります。

⚠注意

器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない（禁止）
器具が過熱し、火災、感電、落下の原因になります。

使用中・使用直後に触らない（禁止）
点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。やけどの原因になります。

光を直視しない（禁止）
点灯時直視しないでください。目を痛める可能性があります。

定期的に点検する（必ず実施）
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。
数年に1回は専門家(工事店・電気店)による点検を実施してください。点検せずに長時間使用を続けますと、まれに、発煙・発火・感電などの原因になります。
※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)

使用上のご注意

●器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
●器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。

ご使用に関するお知らせ

●LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
●表示が発光するスイッチに使用した場合、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
●照射面や照射距離が近い場合、光ムラが発生する場合があります。

お手入れ方法

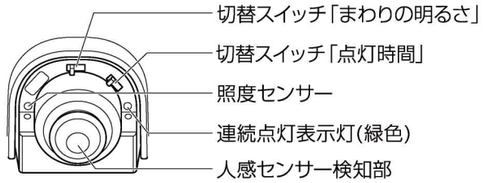
●お手入れの際は必ず電源を切り、本体が冷えたことを確認してから行ってください。
●器具を清掃する際は、乾いた柔らかい布で拭きとるか、水で浸した柔らかい布をよく絞ってから拭いてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因になります。

ON/OFFセンサー付照明器具

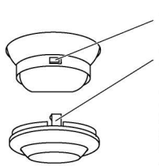
●人感センサーが人の動きをキャッチして自動的に点灯する機能を持っています。
●照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るいときは点灯しないように設定できます。
●人感センサーを切って、照度センサーとしても使用できます。
●壁スイッチの操作で連続点灯させることができます。

センサーの検知エリアを設定する

■センサー各部の名称



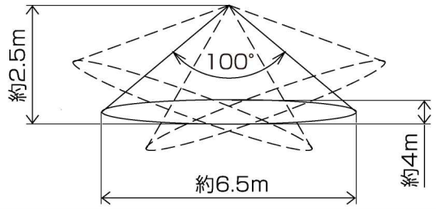
■エリアカットマスクEの取り付け・取りはずし方



エリアカットマスクEの2本のツメとセンサー検知部脇に溝の位置を合わせてはめ込んでください。
取りはずすときは、エリアカットマスクEのツメをセンサー検知部脇の溝からはずします。

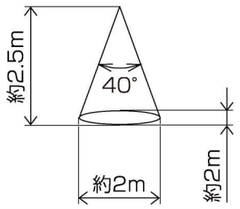
■検知エリア

検知エリアは参考値です。
※器具の向き、センサーの向きによっては検知エリアの距離を満足しない場合があります。
※検知エリアは気象条件などにより差が生じる場合があります。



エリアカットマスクE使用時

エリアカットマスクEを取り付けることにより検知エリアをせまくすることができます。



テストモードに設定する

検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。
「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約５秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。

1. センサー中央の「まわりの明るさ」のつまみを「切」に合わせてください。

2. センサー右側の「点灯時間」のつまみを「人感切」に合わせてください。

センサー機能について

■人感センサーモード・・・暗くなって人を検知した時だけ点灯させたい

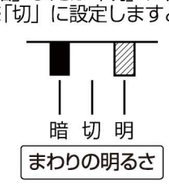
日中は消灯

暗くなって人が近づくと100%の明るさで点灯

人がいなくなると設定時間で消灯

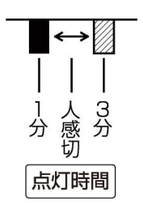
人感センサーモードに設定する

1. 「まわりの明るさ」のつまみを「暗」または「明」に合わせてください。
※「切」に設定しますと明るさに関係なく動作します。



「暗」：約 15 ルクス以下になると待機状態となります。
「明」：約 45 ルクス以下になると待機状態となります。
「切」：照度センサーを OFF にします。
明るさに関係なく待機状態となります。

2. 「点灯時間」のつまみを「1 分」または「3 分」に合わせてください。

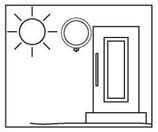


「1 分」：約 1 分間点灯します。
「3 分」：約 3 分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

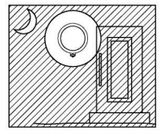
センサー機能について

■照度センサーモード・・・人の検知に関係なく一晩中点灯させたい

日中は消灯



暗くなると100%の明るさで点灯



照度センサーモードに設定する

1. 「まわりの明るさ」のつまみを「暗」または「明」に合わせてください。

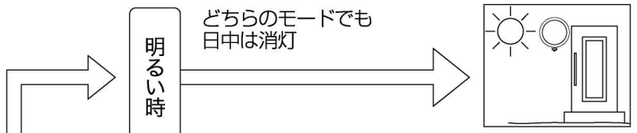
「暗」：約 15 ルクス以下になると点灯します。
「明」：約 45 ルクス以下になると点灯します。

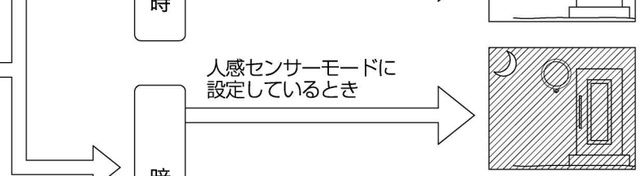
2. 「点灯時間」のつまみを「人感切」に合わせてください。

■連続点灯モード・・・まわりに関係なく点灯させたい

壁スイッチを操作して連続点灯 (8 時間) させることができます。

8 時間後、設定されたモードにもどる

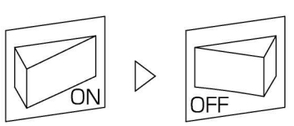




※連続点灯モード中に壁スイッチ操作 (約 1 秒以内の OFF→ON) を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約 8 時間の連続点灯となります。
※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

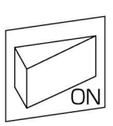
連続点灯モードに設定する

1. 壁スイッチを一度 OFF させる



約 1 秒以内に ON

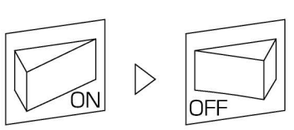
2. 約 1 秒以内に ON にする



※連続点灯モードになると、緑色の表示灯が点灯します。

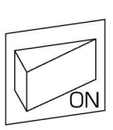
連続点灯モードを解除する

1. 壁スイッチを一度 OFF させる



約 2 秒以上で ON

2. 約 2 秒以上で ON にする



※連続点灯モードが解除されると、緑色の表示灯が消灯します。

※壁スイッチを ON した直後は、約 1 分間点灯します。その後約 5 秒間消灯した後、センサー待機状態となります。